

株主メモ (証券コード：2911)

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

期末配当金受領株主
確定日 3月31日

中間配当金受領株主
確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月に開催

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
電話 0120-094-777 (通話料無料)

公告方法 電子公告
当社ホームページ <http://www.asahimatsu.co.jp/> に掲載

単元株式数 1,000株

上場証券取引所 東京証券取引所市場第二部

株主様へのご優待 3月31日現在で、1,000株以上ご所有の株主各位に対し、3,000円相当の凍豆腐、即席みそ汁等、当社製品の詰め合わせを贈呈いたします。

【株式に関するお手続きについて】

1. 住所変更、単元未満株の買取などのお申し出

証券会社に口座のある株主様 ⇨ 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。

特別口座に口座のある株主様 ⇨ 特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

2. 未受領の配当金の支払いのお申し出

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

【特別口座について】

株券電子化移行時点で「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)に預けられていない株主様の株式については、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社に口座(特別口座)を開設し、管理しております。特別口座についてのご照会等の各種お申し出は、上記電話照会先をお願いいたします。

第64期報告書

平成25年4月1日 ▶ 平成26年3月31日



▶ 株主の皆様へ



代表取締役社長 木下 博隆

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに第64期報告書（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）をお届けいたします。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年6月

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の経済政策による円安・株高が進行する中、大企業を中心とした企業収益の改善や個人消費が持ち直すなど景気は緩やかな回復基調となりましたが、円安に伴う原材料価格の上昇、消費税率の引き上げ決定による消費低迷の懸念など、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、穀物相場の高止まりや円安による原材料調達価格の上昇、重油やLPガス等の燃料の高騰など自助努力だけでは吸収しきれない部分を販売価格へ転嫁すべく、主力事業の凍豆腐、加工食品を中心とした収益構造の改善に継続して努めてまいりました。

その結果、当社グループの当連結会計年度の売上高は消費税増税前の一時的な売上増加もありましたが、価格転嫁による売上減少が大きく100億8千5百万円（前年同期比2.7%減）となりました。

利益面では、売上原価の増加を受け営業損失は2億6千2百万円（前年同期は1百万円の利益）、また、経常損失は2億3千2百万円（前年同期は2千9百万円の損失）となりました。前連結会計年度は休止固定資産の売却損及び遊休固定資産の減損損失を計上しており、また当連結会計年度は、凍豆腐事業における減損損失7億7千4百万円を計上いたしました結果、当期純損失は10億2千7百万円（前年同期は2億6千5百万円の損失）となりました。

部門別概況は、次のとおりであります。

【凍豆腐部門】

凍豆腐では、最需要期となる年末にテレビコマーシャルを実施、消費者向けの料理講習会の実施や凍豆腐の機能性や料理レシピを掲載したムック本の制作と消費者へのムック本プレゼントキャンペーンを実施したほか、業界団体主催のシンポジウムにて広報活動を行うなど、和食の無形文化遺産登録を追い風に市場の維持拡大に努めました。また、新たな付加価値を付けた減塩タイプのこうや豆腐を発売したほか、若年層へのアピールとして全国の学校給食会へのプレゼンテーションを積極的に行うなど新規ユーザーの獲得にも尽力いたしました。減塩タイプの製法は特許を出願中となっております。しかし、原材料価格など売上原価高騰分の販売価格への転嫁を進めると同時に販売促進費の削減を行ってまいりました結果、販売数量が減少し、売上高は39億2千9百万円（前年同期比3.1%減）と減少いたしました。

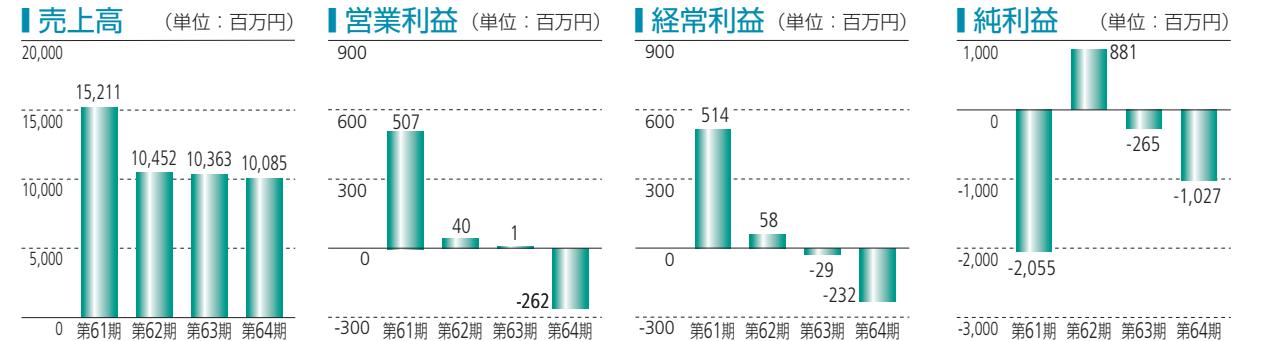
【加工食品部門】

加工食品においては、袋入りで減塩タイプみそ汁の徳用品や好評を得ていた納豆汁の徳用品など新製品を発売し、3食タイプみそ汁の主力品のリニューアルを行ったほか、春雨スープ徳用品のリニューアルを行い商品の活性化を図りました。また、新たなカテゴリーへの挑戦として野菜サラダの新しい食べ方を提案する調味料入り春雨「春雨deサラダ」2品を発売いたしました。カップ入りでは継続的に具材をリニューアルした製品を発売するなどの販売活動を行いました。しかしながら、凍豆腐と同様に販売促進費の削減などの影響から、売上高は44億4千9百万円（前年同期比4.8%減）となりました。

【その他部門】

その他部門では医療用食材などが堅調に推移しており、売上高は16億7千6百万円（前年同期比5.0%増）と増加いたしました。なお、売上高は僅かではありますが新規事業として大豆を丸ごと加工した素材型の製品である『大豆の華』3品を復活販売し給食・業務用チャンネルへの営業活動を開始しております。

▶ 業績の推移



トピックス

凍り豆腐の長期摂食試験結果について

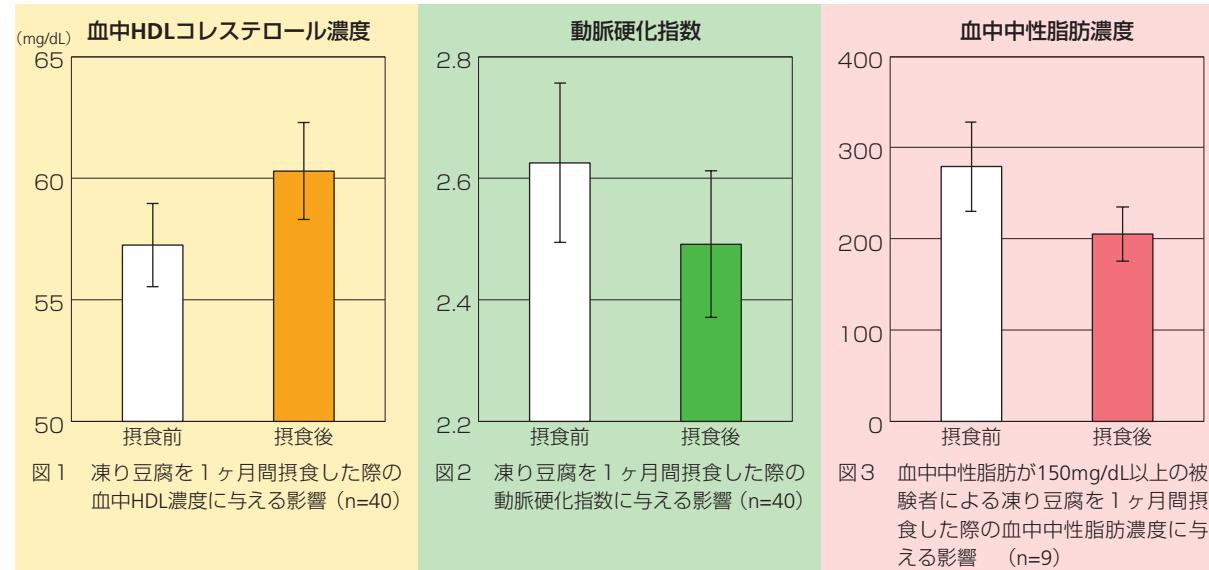
「凍り豆腐の長期摂食による脂質代謝改善効果」と題した論文が『薬理と治療』誌の5月号（2014年5月20日発行）に掲載されました。

生活習慣病の一つに動脈硬化を引き起こす脂質異常症と呼ばれるものがあり、治療薬についても副作用の問題があります。食生活の改善が生活習慣病の予防に効果があることから、凍り豆腐の長期摂食による脂質代謝改善効果を検証しました。

凍り豆腐を1日1枚1ヵ月間食べ続けてもらうことによって、図1に示すように血中HDL（善玉コレステロール）は有意に上昇しました。これに伴って、動脈硬化指数（図2）も有意に低下しました。

また、試験前に元々血中中性脂肪が高かったヒトに関しては、血中中性脂肪も低下傾向にありました（図3）

このことから、凍り豆腐を食べることによって、善玉コレステロールであるHDLが上昇し、脂質代謝に影響を与え、動脈硬化のリスクを低減させることができることが分かりました。



こうや豆腐の機能性追求・プロモーション展開

平成25年はテレビ・ラジオCMの投入や年齢層別プロモーションの一貫である「美人塾」の開催、各種媒体を使った啓蒙活動などこうや豆腐における新しい試みを実施しました。

テレビCMは、平成25年11月中旬から穴戸錠さんを起用したユニークな内容で西日本を中心に平成26年年始までオンエアされました。

また、「美人塾」は大阪のグランフロント大阪にて同年11月に人気DJの赤松悠美さんをゲストに迎え、「食事とキレイの関係」をテーマにプレゼンや赤松さんによる調理実演、参加者の皆様が試食されるというものでした。試食では、用意した料理が好評で追加するなど盛況に終わりました。「美人塾」は、来期以降も継続して実施していく予定です。



「美人塾」での調理実演風景

機能性追求という点では、平成25年6月に「こうや豆腐普及委員会」を通じ、中性脂肪抑制効果、コレステロール調節作用をテーマに発表が行われました。続いて、同年10月には東京大学にて「食育シンポジウム『減塩と健康』」が、NPO食の安全と安心を科学する会の主催で開催され、当社も後援・協賛メーカー



「食withフォーラム」にて講演者の方と（左から白井先生、鎌田先生、木下社長、廣田教授）

として参画、服部幸應先生、東京大学安東克之準教授の講演の他、弊社社員によるプレゼンも行われ、昼食には人形町今半謹製のこうや豆腐と「大豆の華」を使用した減塩弁当が出席者の皆様に提供されました。さらに同年12月には、「食withフォーラム『見直そう日本食文化ー高野豆腐でおいしく健康にー』」のタイトルで、こうや豆腐普及委員会により諏訪中央病院名誉院長鎌田實先生の講演及び京都光華女子大廣田孝子教授、料理研究家白井操先生を交えた3名によるパネルディスカッションが開催されました。400名の定員に対し、

1,239名の応募があるなど関心が高く、講演では長野県民が健康長寿になった秘訣をこうや豆腐の効能を取り入れながらお話しされ、パネルディスカッションでは、時々、笑いが起きるなど、参加者の皆様も大いに楽しんでおられました。

また、商品では、従来の重曹から炭酸カリウムを使った新製法により塩分を25%カットした「減塩 小さなこうや」を3月に発売しました。この商品が、生活習慣病などの予防・改善に貢献できると考えております。

今後も凍豆腐の機能性追求や啓蒙活動を通じ、健康で心豊かな食生活に貢献できるよう取り組んでまいります。



新商品「減塩 小さなこうや」

▶ 連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	前連結会計年度	当連結会計年度
	平成25年3月31日現在	平成26年3月31日現在
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,372,459	1,980,959
受取手形及び売掛金	2,194,575	2,129,811
たな卸資産	1,124,276	1,007,778
繰延税金資産	2,019	1,940
その他	158,422	114,951
貸倒引当金	△1,857	△5,023
流動資産合計	5,849,896	5,230,418
固定資産		
有形固定資産	3,974,098	3,372,448
無形固定資産	144,714	487,745
投資その他の資産	554,859	571,047
固定資産合計	4,673,672	4,431,241
資産合計	10,523,569	9,661,660
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	961,818	883,801
短期借入金	33,601	36,648
リース債務	8,133	6,377
未払金	643,433	923,087
未払法人税等	18,349	18,429
賞与引当金	49,179	34,275
設備関係支払手形	19,784	58,017
その他	175,555	130,306
流動負債合計	1,909,855	2,090,943
固定負債		
長期借入金	6,122	6,981
リース債務	10,715	14,700
繰延税金負債	165,931	168,610
退職給付に係る負債	546,474	494,142
資産除去債務	46,658	47,053
その他	14,100	14,100
固定負債合計	790,001	745,587
負債合計	2,699,856	2,836,530
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617,844	1,617,844
資本剰余金	1,632,423	1,632,423
利益剰余金	4,522,377	3,449,567
自己株式	△126,634	△127,577
株主資本合計	7,646,010	6,572,258
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	136,606	142,437
為替換算調整勘定	8,230	91,379
退職給付に係る調整累計額	—	△24,394
その他の包括利益累計額合計	144,837	209,422
少数株主持分	32,864	43,447
純資産合計	7,823,712	6,825,129
負債及び純資産合計	10,523,569	9,661,660

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

▶ 連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	前連結会計年度	当連結会計年度
	平成24年4月1日から平成25年3月31日まで	平成25年4月1日から平成26年3月31日まで
売上高	10,363,596	10,085,984
売上原価	7,940,274	7,939,518
売上総利益	2,423,322	2,146,465
販売費及び一般管理費	2,422,259	2,408,959
営業利益又は営業損失(△)	1,062	△262,494
営業外収益	35,463	34,082
営業外費用	65,836	3,669
経常損失	△29,309	△232,080
特別利益	4,014	3,534
特別損失	208,427	782,736
税金等調整前当期純損失	△233,722	△1,011,282
法人税、住民税及び事業税	31,778	14,593
法人税等調整額	△1,075	△206
少数株主損益調整前当期純損失	△264,425	△1,025,669
少数株主利益	1,465	1,344
当期純損失	△265,890	△1,027,014

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

▶ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	前連結会計年度	当連結会計年度
	平成24年4月1日から平成25年3月31日まで	平成25年4月1日から平成26年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	361,298	125,896
投資活動によるキャッシュ・フロー	150,095	△470,780
財務活動によるキャッシュ・フロー	△398,233	△53,324
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,656	6,706
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	119,816	△391,501
現金及び現金同等物の期首残高	1,097,616	1,217,432
現金及び現金同等物の期末残高	1,217,432	825,931

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

POINT

連結・個別とも同様の為、
8ページに記載しております。

▶ 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

(単位：千円)

項 目	株主資本					その他の包括利益累計額				少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主資本 合計	その 他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当 期 首 残 高	1,617,844	1,632,423	4,522,377	△126,634	7,646,010	136,606	8,230	—	144,837	32,864	7,823,712
当 期 変 動 額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
剰 余 金 の 配 当	—	—	△45,795	—	△45,795	—	—	—	—	—	△45,795
当 期 純 損 失	—	—	△1,027,014	—	△1,027,014	—	—	—	—	—	△1,027,014
自 己 株 式 の 取 得	—	—	—	△942	△942	—	—	—	—	—	△942
株主資本以外の項目の 当期の変動額(純額)	—	—	—	—	—	5,830	83,149	△24,394	64,585	10,583	75,169
当 期 変 動 額 合 計	—	—	△1,072,809	△942	△1,073,751	5,830	83,149	△24,394	64,585	10,583	△998,582
当 期 末 残 高	1,617,844	1,632,423	3,449,567	△127,577	6,572,258	142,437	91,379	△24,394	209,422	43,447	6,825,129

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

▶ 貸借対照表

(単位：千円)

科目	前事業年度	当事業年度
	平成25年3月31日現在	平成26年3月31日現在
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,192,833	1,837,803
受取手形	26,549	20,111
売掛金	2,093,341	2,027,047
商品及び製品	308,205	266,696
仕掛品	300,737	236,961
原材料及び貯蔵品	476,054	431,301
前渡金	20,808	29,902
前払費用	31,031	26,836
その他	152,886	82,538
貸倒引当金	△1,575	△606
流動資産合計	5,600,872	4,958,592
固定資産		
有形固定資産	3,625,890	2,945,768
無形固定資産	128,450	469,974
投資その他の資産	933,342	941,526
固定資産合計	4,687,683	4,357,270
資産合計	10,288,555	9,315,863
負債の部		
流動負債		
支払手形	66,552	52,643
買掛金	759,748	711,558
リース債務	3,124	2,547
未払金	726,971	985,276
未払費用	126,014	100,531
未払法人税等	12,503	18,429
未払消費税等	—	4,381
預り金	28,309	7,388
賞与引当金	45,900	31,963
設備関係支払手形	19,784	58,017
その他	—	40
流動負債合計	1,788,911	1,972,778
固定負債	776,386	700,188
負債合計	2,565,297	2,672,966
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617,844	1,617,844
資本剰余金	1,632,423	1,632,423
利益剰余金	4,463,017	3,377,768
自己株式	△126,634	△127,577
株主資本合計	7,586,650	6,500,459
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	136,606	142,437
評価・換算差額等合計	136,606	142,437
純資産合計	7,723,257	6,642,897
負債及び純資産合計	10,288,555	9,315,863

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

▶ 損益計算書

(単位：千円)

科目	前事業年度	当事業年度
	平成24年4月1日から平成25年3月31日まで	平成25年4月1日から平成26年3月31日まで
売上高	10,019,132	9,697,093
売上原価	7,704,175	7,647,048
売上総利益	2,314,956	2,050,044
販売費及び一般管理費	2,355,314	2,337,339
営業損失	△40,358	△287,294
営業外収益	41,139	40,992
営業外費用	62,755	2,202
経常損失	△61,974	△248,504
特別利益	1,070	1,433
特別損失	206,259	782,736
税引前当期純損失	△267,163	△1,029,808
法人税、住民税及び事業税	10,993	9,930
法人税等調整額	△325	△285
当期純損失	△277,831	△1,039,453

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

POINT ① 売上高
値上げによる一時的な売上減

POINT ② 売上原価
・ 原材料・燃料の高止まり
・ 為替の影響

POINT ③ 減損損失
凍豆腐事業での計上

▶ 株主資本等変動計算書

当事業年度（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）

(単位：千円)

項目	株主資本							評価・換算差額等		純資産合計		
	資本金	資本剰余金	利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計			
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金							利益剰余金合計	
			買換資産圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金							
当期首残高	1,617,844	1,632,423	155,900	177,768	4,300,000	△170,651	4,463,017	△126,634	7,586,650	136,606	136,606	7,723,257
当期変動額	—	—	—	—	△300,000	300,000	—	—	—	—	—	—
別途積立金の取崩	—	—	—	—	△300,000	300,000	—	—	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	—	—	—	△45,795	△45,795	—	△45,795	—	—	△45,795
当期純損失	—	—	—	—	—	△1,039,453	△1,039,453	—	△1,039,453	—	—	△1,039,453
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—	△942	△942	—	—	△942
株主資本以外の項目の当期の変動額(純額)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5,830	5,830	5,830
当期変動額合計	—	—	—	—	△300,000	△785,248	△1,085,248	△942	△1,086,191	5,830	5,830	△1,080,360
当期末残高	1,617,844	1,632,423	155,900	177,768	4,000,000	△955,900	3,377,768	△127,577	6,500,459	142,437	142,437	6,642,897

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況 (平成26年3月31日現在)

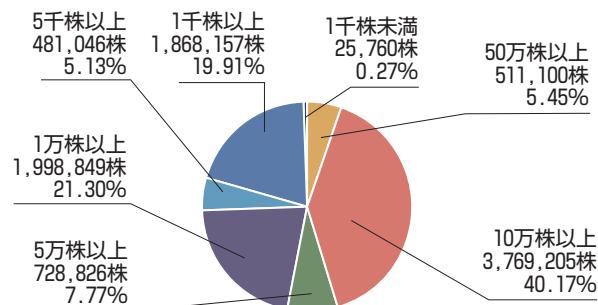
- ①発行可能株式総数 28,400,000株
- ②発行済株式の総数 9,382,943株
- ③株主数 1,865名
- ④大株主（上位10名）

株主名	持株数	持株比率
三菱商事株式会社	511,100株	5.58%
株式会社八十二銀行	452,600株	4.94%
旭松食品従業員持株会	286,742株	3.13%
木下博隆	279,488株	3.05%
赤羽源一郎	275,170株	3.00%
株式会社ヒメカン	274,428株	2.99%
藤徳物産株式会社	274,428株	2.99%
佐々木寛雄	255,402株	2.78%
熊谷政敏	226,528株	2.47%
株式会社大乾	224,428株	2.45%

※当社は自己株式226,991株を所有しておりますが、上記大株主からは除いております。

※持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有株式数別分布状況



取締役及び監査役 (平成26年6月27日現在)

代表取締役社長 木下博隆
営業本部長

取締役 湯沢浩人

取締役 経営戦略本部長 兼 経営企画部長 蒲田充浩

取締役 マーケティング開発本部長 兼 マーケティング部長 上辻徹

取締役 研究所長 兼 品質保証部長 村沢久司

常勤監査役 佐々木寛雄

監査役 伊坪眞

監査役 田中健一郎

会社の概要 (平成26年3月31日現在)

商号 旭松食品株式会社
ASAHIMATSU FOODS CO.,LTD.

本店 長野県飯田市駄科1008番地
本社 大阪市淀川区田川三丁目7番3号

設立 昭和25年12月19日

資本金 1,617,844,105円

主な子会社 旭松フレッシュシステム株式会社、青島旭松康大食品有限公司、青島旭松康大進出口有限公司、新鮮納豆株式会社（第64期決算では連結対象外です）

従業員数 グループ人員：393名（18名減）
当社人員：275名（6名減）

主な事業内容 大豆加工製品の製造及び販売

主要製品 家庭用凍豆腐、業務用凍豆腐、即席みそ汁、スープ類

主要な拠点 当社の主要な営業所及び工場

- 本店 長野県飯田市駄科1008番地
- 本社 大阪市淀川区田川三丁目7番3号
- 支店 東京支店（東京都中央区）・大阪支店（大阪市淀川区）
- 営業所 北日本営業所（宮城県）・中日本営業所（愛知県）
中四国営業所（平成25年8月 岡山県に移転）・福岡営業所（福岡県）
- 工場 天竜第一工場・天竜第二工場・飯田工場・伊那工場（以上 長野県）
- 研究施設 食品研究所（長野県）

旭松フレッシュシステム株式会社

- 本社 長野県飯田市駄科1008番地
- 営業所 飯田営業所（長野県）
- 物流センター 高森低温物流センター（長野県）

青島旭松康大食品有限公司

本社 中国山東省青島市

青島旭松康大進出口有限公司

本社 中国山東省青島市

ホームページアドレス <http://www.asahimatsu.co.jp/>